

レゴブロックを活用した授業について

学校名：玉城町立外城田小学校

教科	総合的な学習の時間
実施学年	第3学年
単元名	What's it? (それなあに?)

本時の目標	ある物が何かとたずねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができる。
準備物	レゴブロック、ピクチャーカード、ワークシート

<本時の流れ>

学習活動	教師の支援・留意点
1 ALT とアクティビティとフォニックスを練習する。 2 学習の見通しを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを板書し、本時の活動内容を伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <めあて> 英語でたずねよう！こたえよう！ </div>	
3 ピクチャーカードに描かれている動物を英語で発音する。 4 ワークシートを使い What's it? It's ~. をペアで練習する。 5 各班ピクチャーカードの中から動物を1匹選び、レゴを使って表現する。(5, 6班編成)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童になじみのある動物のピクチャーカードを提示し、その動物を英語で表現させる。(ライオン、ぞう、キリン、さる、犬、うさぎ) ・ワークシートを配付する。 ・いろいろな動作の動物を作らせる。また、レゴの特性をいかせるように、立体的に作るように指導する。 ・組み立てが進んでいない児童には、適宜教師が指導する。 ・ALT、教師が英語を使い、質問しながら各班を机間巡視する。(What's it? What's color? など)

<p>6 表現したものについて発表する。</p> <p>7 学習の振り返りを行う。</p>	<p>・完成したものについて、What is it? It is~を使って英語でたずね答え、発達段階を踏まえ、細かな説明は日本語で説明させる。</p>
<p><まとめ> ある物が何かとたずねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことができたか学習を振り返る。</p>	

<成果と課題>

この授業に向けて同じ形式で何度か授業を行った。その結果、本時の活動の中で子どもたちはフォニックスの学習やレゴを使った活動をスムーズに行うことができた。本時の授業では、児童同士で英語を使い活動する時間を設定したので自発的に英語を話す機会になったことが成果としてあげられる。またレゴを使うことによって児童の英語で話したい、発表したいという意欲を高めることができたので、この活動も成果であると考えられる。

課題は、教師自身がさらに英語の表現を学び、授業の中で使っていく必要がある。簡単な表現でもなるべく英語の表現を児童に聞かせる必要性も感じた。